

▲或人は幼稚園は幼児の遊び友達を得るために必要無く可からざるものだと云ひますが是は一面大に真理のある所で尤もの議論でありますが併し夫れにしては今日の幼稚園は頗る友達が多は過ぎると云はなければなりません、従つて兒童に因つては却つて餘りに刺戟の多いのに恐れて幼稚園を嫌ふと云ふ様なこともある様です。故に此議論ばかりでは幼稚園必要の絶對理由とは云はれませんが此他に天然に親しみ天然に近づかしむる所の習慣を不識の中に養ふと云ふことが幼稚園必要の大なる理由とならなければなるまいと思ひます。

▲私は門外漢で幼稚園の内容に就ては餘り能くは知らないけれど兎に角今日の幼稚園は一般に學校に近づいて居て幼児の遊樂と云ふことには餘程自由を束縛して居りはしまいかと思ひます。

御土産と子供

芙蓉生

▲大人が外より來れば直に「御土産」をとねだる子供がよくあるので、或一部の人は御土産は悪い習慣である。子供に絶体に廢さなければならぬそして家族の外より歸宅した時は勿論客人の始末て來た人などに御土産の催促がましい事などあつては以ての外であるから、よく氣を付けてそんな物をはしならぬ様せねばならぬと云ひますが是等も所謂角を撓めて牛を殺すの類ではありまいか

▲成程子供に御土産は動もすれば斯る面白からぬ結果を生ずることもありませうが併し夫れも遣り方次第だらうと思ひます、父母其他の人が外へ出れば必ず御土産を買つて歸つて、そして子供に「是が御土産だよ」と麗々と知らしめつゝ物を與

へると云ふことが度重なるに連れて子供は自然に御土産なるものを歓迎するの習慣の養はれたる折も折會々來客の持ち來りたる菓子其他の物を子供の前にて押し開き、恰も其土産物が其子供のために持ち來たされたるものなるかの如くに處置せらるゝことも多きために遂には兒童をして外來人は皆自己に對して何者をか土産とするものと思はしむるに至る様です。是等は今日世間には有り勝の弊習で唯只管に子供の意を歓迎せんとするより起る流弊でありませう、子供に取りて誠に無理もない事でありませう。併し之が爲めに御土産を全く廢すると云ふことは少し考へたいと思ひます。

▲一体子供と云ふものは極めて物質的で又有形のものでありませうから此性質に乗じて先づ有形より無形に導かんが爲めに父母其他の人が御土産

を彼等に與へて一には之を以て親愛の意を表し一には之を利用して彼等を或方面に導かんとするに最も有効で且つ最も自然的の方法であると思ひます。之は外より歸れる父母其他の長上を子供が歓迎するに當つて時に土産物など而も兒童の最も歓迎する食物玩具の類などが出たらば其時の子供はどんな感情を起すであらうかを考へたらば明に了解出来ることとせう。況して待ち設けた遠來の伯父さんや伯母さんなどの土産が如何に其子供を悦ばすだらうかは實に想像の外だらうと思ひます。要するに外來の人を歓迎する最初の心情を養はんとするには御土産は恰好の有形的誘導物であると云ふ、此等の點から考へて見ると子供に御土産物は一概に廢する譯にも行きませう。

▲最も子供と云ふものは一方には頗る利己的のも

のですから如上の弊害は思はぬ中に起るに違ひありませんから、父母は豫め是等に對する覺悟を極めて子供をして両親の歸りには必ず土産物あるものと思はせぬ様注意することは必要であります従つて子供に御土産は必ずしも常に與へる必要はありません即ち御土産なるものは時々與へらるゝものであると云ふ考へを子供に持たせて置くことは必要なことであります。

▲尙又客人の御土産、是は必ずしも子供の爲めに持參されたものでないと云ふことを子供に知らしむる爲めに其土産物を其席に於て直に子供に與へたり、或は子供の前に於て妄りに之を批評したりなどすることはよさなければなりません。若し與ふくくんば其席に妄りに子供を居らしめぬことが必要だらうと思ひます。最も其贈り物が特に兒童

に對してのもので而も其人が兒童にも惡意の人と云ふならば直に其場に於て之を兒童に與へずしも悪しきに非ずして時には却つて作法の良き練習となる時もあらんが、若し其人が子供に然したる關係なき人ならば其贈物は後にて適當の時に與へらるゝ方がよいでせう。

▲兒童が漸々發達して來ると遂には食物又は玩具等の外書籍、繪畫、其他の物品等をも土産として喜ぶに至るものであります、子供が此時期に達したならば矢張夫れに應じて土産物も變ずることが出來、従つて其選擇の範圍も廣くなり、教育的の効果も大に増加せしむることが出來る様になります。そうして又此時機には時には無形の土産も(談話、等)大に効果あらしむることが出來様と思ひます。